

<p><b>1月の支部委員会</b>  <b>日時：1月7日(火) 17時半</b>  <b>場所：北多摩東教育会館</b>  <b>12月中に参加者の決定を</b></p>	<p><b>北多摩東ニュース</b></p>	<p>2013          第17号</p>	<p>都教組北多摩東支部          電話(042)384・2941          FAX(042)384・7904          kita-higasi@mvc.biglobe.ne.jp</p>
---	------------------------	-------------------------------	--

# 多忙な学校を変える1歩を

## 小さなクミンギ 教職員アンケート 中間報告①

「一番大切な授業準備や子どもと接する時間がとれない」と、切実な声がびっしり書かれたアンケートがたくさん寄せられています。

組合では、みなさんの声をもとのに教育条件整備や学校に次々に降りてくる調査・報告の精選などを求めて教育委員会と交渉をすすめています。

今は、学校評価アンケート提出の時期です。学校評価の土台になる大切なものです。

そこで教職員アンケートに寄せられた生の声をお届けします。みなさんが学校評価アンケートを書く時の参考になれば幸いです。



### 仕事の「じゃら」 気になる「じゃ」

- ◆ 仕事が忙しすぎる。次から次へと仕事に追われ充電する時間もない。
- ◆ 「〇〇目標」多すぎて指導が徹底しない。見直しが必要だと思う。
- ◆ 放課後も会議や打ち合わせ、様々な事務処理があり休憩時間がないこと。
- ◆ 子どものこと自分たちのことを語り合う時間もない。職場の連帯感が生まれにくい。
- ◆ 仕事が終わらず早く帰ることがでず自分の子どもの面倒を見てあげられない。
- ◆ 管理体制強化及び業績評価差別で人間としての尊厳が失われている。
- ◆ 学級に専念する日を月行事予定表に入れてほしい。

### 子どもの「じゃら」 気になる「じゃ」

- ◆ 十分に学習を見てあげる時間がとれない。子どもの話をゆっくりと聞いてあげる時間も持てない。
- ◆ 感情のコントロールが難しい児童や愛情を十分に受けていないと思われる児童が多く学校生活に集中できないこと。
- ◆ 子ども同士のコミュニケーション能力の低下。コミュニケーションがとれない子への対応の難しさ。
- ◆ 全体的に睡眠不足で疲れている。
- ◆ ゲームや携帯でのトラブル。



- ◆ 特別支援を要する児童が増えてきており、その対応で大変困っている学級が多くあります。教員の心労が重くなっている。
- ◆ 親が遅くまで働いており一人で家にいる子どもが増えている。親も疲れ切っていてなかなか子どものことまで気がまわらない。
- ◆ 行事やイベントに追われて、落ち着いて勉強する期間が少なすぎること。

☆子どもの実態を率直に出し合い、学校運営の改善を図る大切な学校評価の時期です。3学期はアンケートの詳しい報告を行います。アンケートに引き続きご協力をお願いします。